

資料3-4

第3次行財政改革前期実施計画個票

No

1-2-1-2-4

基本方針	I 市民協働・官民連携の推進
改革の方向	2 官民連携の推進と民間活力の活用
施策	1 官民パートナーシップの推進

取組項目	2-4 民間等と連携した市民サービスの向上（地域リハビリテーション推進センターの展示フロア充実）
現状等	障害者や高齢者の地域生活における相談支援用として、所内の展示フロアに車椅子や歩行器などの福祉用具を設置しており、福祉用具の一部は有償リース契約しています。（有償リース件数10点）また、施設利用者のアンケート調査は継続して行っています。
取組概要	①現在の展示品については、暫時リースを無償リースに切り替えていくことで経費削減を図ります。 ②民間との連携により新たな経費負担をすることなく、最新型の福祉用具を、展示品に加えていきます。 ③アンケート調査により、市民目線による見やすくわかりやすい展示に努め、市民サービスの向上を図ります。
効果額の積算方法	・民間との連携により有償リース件数（10点）をH27年度から3年間で半減。 ・賃借料（H26年度 188千円：H27 ▲4千円、H28 ▲62千円、H29 ▲453千円、H30 ▲180千円） ※新たに加えていく最新製品については、リース料を予算計上せず、民間業者との連携により、無償で借りられるようにする。このことにより、無償となった新製品のリース料も効果額に加えます。
効果	・有償リースを無償リースに切り替えたことによる賃借料の削減 ・民間との連携により、最新型又はニーズにあった福祉用具を取り入れることにより、市民サービスが向上します。 ・わかりやすい展示により、市民が必要な情報が得られます。また、アンケート調査により市民意識の確認ができます。

	年度	内容	H27	H28	H29	H30
工程	計画	①無償リースへの切替 ②無償リース品の増加 ③アンケート調査の実施 ④福祉用具の展示方法の変更	△○一部実施 ◎実施 ◎実施 △○一部実施	⇒継続 ⇒継続 ⇒継続 ⇒継続	⇒継続 ⇒継続 ⇒継続 ⇒継続	⇒継続 ⇒継続 ⇒継続 ⇒継続
	実績	①無償リースへの切替 ②無償リース品の増加 ③アンケート調査の実施 ④福祉用具の展示方法の変更	△○一部実施 ◎実施 ◎実施 ◎実施	⇒継続 ⇒継続 ⇒継続 ⇒継続	⇒継続 ⇒継続 ⇒継続 ⇒継続	◎実施 ⇒継続 ⇒継続 ⇒継続
	凡例	△調査・検討 ○一部実施 ◎実施 ⇒継続 ●実績なし ×中止				
	進捗	①	凡例	①計画より進んでいる ②計画どおり ③計画より遅れている ④実績なし		

取組実績 (具体的な取組内容)	H27	・関係機関との検討により有償リース3点を無償リースに切り替え、賃借料を削減しました。 ・アンケート結果を反映し、展示品を目的に毎に配置したことにより見易さを向上させました。
	H28	・関係機関との検討により有償リース2点を無償リースに切り替え、賃借料を削減しました。 ・無償リースに切り替え後のメリットデメリット及び優先順位など職員間で十分に検討し、民間へ働きかけるようにしました。
	H29	・これまで有償リースであった福祉用具5点について、福祉用具メーカーと協議・交渉した結果、このうち1点の福祉用具の無償リースに切り替えることができたため、有償リース品は4点となりました。 ・なお、30年度に向けては、有償4点を同等の福祉用具無償リースに切り替えるようメーカーと交渉済みです。
	H30	・有償リースの福祉用具4点について、福祉用具関係者の意見を取り入れながら見直し及び新製品への交代に取り組んできました。その結果、展示品すべてを無償リースへ切替るとともに、無償リース展示数を増やしたことから効果額実績は計画以上の削減額となりました。市民満足度については、リハビリ専門職による説明対応や展示品の見直し及び展示数の増加から概ね達成されました。

指標	内容	年度	H27	H28	H29	H30
			有償リース品数 (H26 10点)	計画 9点 実績 7点	7点 5点	4点 4点
「必要な情報を得られたかどうか」の市民満足度	計画	50%	60%	97%	98%	
	実績	96%	97%	98%	98%	
効果額 削減額（単位：千円）	計画	4	66	726	906	
	実績	60	98	726	971	
局名	保健福祉長寿局		所管課	地域リハビリテーション推進センター		